

週刊水産新聞(縮小版)

循環型社会形成へ 新たな需要を創造

発泡スチロール協会・
天知秀介会長 当協会
は「地球環境への負荷」
と「発泡スチロール事業
の発展」を両立して活動
していきます。

国内水産部門出荷実績

(単位:千トン)

年次	19	20	21	22	23	24	25	26
実績	87.9	78.7	89.2	88.2	81.1	58.5	57.5	58.8
平成26年								

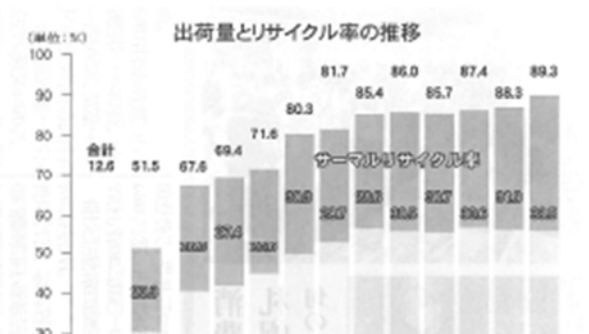
発泡スチロール リサイクル着実

地球温暖化の影響で電
気機器の廃棄物が増える
中、発泡スチロールは
資源として活用され、
環境にやさしい材料
として注目されています。

昨年(2014年)は過去最高89%

用途幅広く環境配慮素材

軽量化・省資源・省エネルギー・省コスト
のメリットが、幅広い分野で活用されています。
また、発泡スチロールは、
資源として活用され、
環境にやさしい材料
として注目されています。



平成26年用途別出荷量

用途	出荷量(千トン)	割合
容器	78,090	55.5%
緩衝材・他	39,360	28.0%
その他	23,150	16.5%
総出荷量	140,600	



世界中を流通 国際協定締結

発泡スチロールは、
資源として活用され、
環境にやさしい材料
として注目されています。

大量集積の卸売市場 減容施設がフル稼働 プラスチックに再生

発泡スチロールは、
資源として活用され、
環境にやさしい材料
として注目されています。

軽量化 輸送費削減

発泡スチロールは、
資源として活用され、
環境にやさしい材料
として注目されています。

抜群の鮮度保持力

発泡スチロールは、
資源として活用され、
環境にやさしい材料
として注目されています。

世界中を流通 国際協定締結

発泡スチロールは、
資源として活用され、
環境にやさしい材料
として注目されています。

大量集積の卸売市場 減容施設がフル稼働 プラスチックに再生

発泡スチロールは、
資源として活用され、
環境にやさしい材料
として注目されています。

発泡スチロールのリサイクル率

2014年実績

89.3%

容器 55.8%
緩衝材 33.5%

発泡スチロール(EPS)は、
優れた特性で地球環境を守ります。

発泡スチロール協会 EPS JEPSA

株式会社 積水化成成品北海道

代表取締役社長 藤井 雅敏

本社営業所 (本社工場)
〒066-0075 千歳市北信濃779-3
TEL 0123-23-5571 FAX 0123-24-1791

釧路工場 〒084-0625 釧路市新野24-1052
TEL 0154-67-4442
道北営業所 〒078-8271 滝川市工業団地1条2丁目311
TEL 0166-36-5606

発泡スチロール容器製造

鋼路スチレン株式会社

代表取締役社長 羽田野 善光

〒084-0913 北海道釧路市星が浦南1丁目2番15号
TEL(0154)52-3557(代) FAX(0154)53-2359

根室スチレン株式会社

代表取締役 高岡 一朗

〒087-0031 根室市月岡町2丁目78番地
TEL(0153)22-3431 FAX(0153)22-3432

プラスチックフォームの総合メーカー

玉井化成株式会社

代表取締役社長 佐藤 尚治

本社 〒047-0261 小樽市城野3丁目524-9
TEL(0134)62-1104 FAX(0134)62-0777
別荘 〒059-1575 苫小牧市一本松町5番12号
TEL(0144)53-5471 FAX(0144)53-5472
URL: http://www.tamai-kasei.co.jp

北菱イーピーエス株式会社

代表取締役社長 石川 好博

石狩市新港中央2丁目756番地13
TEL(0133)64-5131 FAX(0133)60-2355

※使用許諾済み